



- プラス 日報
- 新聞を読む
- 調べる
- ジュニアウィークリー
- 震災・復興学習
- 新聞ワークシート
- みんなの広場



震災・復興学習 2月に新設!

「3・11」を学べる記事をピックアップ

2011年3月11日の東日本大震災からまもなく13年。小中学生の多くは震災を経験していません。震災の教訓を子どもたちに伝えるため、岩手日報が発災直後から現在まで発信してきた様々な震災関連情報をご活用ください。

「震災・復興学習」のページでは、震災の被害や復興の様子を時系列で分かりやすく伝えるパッケージや教材に適した記事をピックアップし、随時充実させていきます。

「復刻版」新聞が読める

「もし11日に取材した内容で紙面が構成できていれば」という仮定で、2011年3月12日付岩手日報を再編集した全12ページの「復刻版 東日本大震災」(2021年3月12日発行)を読むことができます。

「復刻版」には、通信断絶や交通網寸断のため実際の12日付紙面には載せられなかった記事や写真を掲載。沿岸各地で記者が撮影した津波をはじめ、避難所の様子や内陸の被害、全国の動向も収録しています。



時系列で学べる

三陸鉄道の全線開通や被災した子どもたちの成長など、震災前の様子、被害の規模、復興の過程などが時系列で分かる記事をまとめました。

小学生向けには、記事にふりがなを付けたテキストも用意しました。



8年後



※画像はイメージです

いわての復興教育副読本
「いきる かかわる そなえる」の関連記事もピックアップ

震災関連のコンテンツは
順次追加予定



授業の準備に活用されています!!

二戸市・金田一小

二戸市・金田一小(菅原佳子校長、児童157人)の5学年担任・大日向千尋教諭(34)は、2023年11月の学校公開研究会で行った社会科の授業「自動車の生産にはげむ人々」の準備に「+日報」を活用しました。

「+日報」に毎朝掲載されるデジタル紙面やデータベース検索機能を使い、1学期から児童と自動車や社会課題に関する記事をスクラップ。記事を参考に、社会の課題を解決する車の新しい性能を考えました。

大日向教諭は「『+日報』を使うとたくさんの記事を集めやすく、共有もしやすい」と利点を実感しています。



指導案はこちら▶



盛岡市・城南小

盛岡市・城南小(菅野亨校長、児童377人)の5年2組担任・猪鼻裕之教諭(34)は、「メディアとの関わり方に自分なりの考えを持ってもらおう」と、23年10月の学校公開研究会で行った国語の授業に新聞記事を取り入れました。

児童はごみ焼却施設の余熱を使ったプール施設「ゆぴあす」の記事を疑問点や納得した点に線を引きながら読み、考えを発表し合いました。

猪鼻教諭は「+日報」の効果を「児童に新聞を読む癖がついてきており、休み時間も自由に記事検索をしている。読んだニュースについて話すことで子ども同士につながりができている」と感じています。



指導案はこちら▶



…ココガワカラン!!…

ニッポちゃん



記事検索で検索したいワードを入力したのに、2~3件しかヒットしないよ~(涙)

「掲載日の期間」は変えたか?最初は1ヶ月に設定されているから、1年や2年に広げるとたくさんヒットするぞ!やってみてくれ!



イワさん